

# 第2回空間デザイン検討部会 概要まとめ【令和8年2月26日開催】

## 空間デザイン方針（案）の設定について

### プランの基本的な構成に関わる空間デザイン方針

『配置の視点』から設定した空間デザイン方針

～誰もが、いつでも、心地よく使える駅前広場～

『機能の視点』から設定した空間デザイン方針

～多彩な過ごし方を支える、マルチユースが可能な駅前広場～

『つながりの視点』から設定した空間デザイン方針

～周辺と一体となり、まちへ導く駅前広場～

第3回空間デザイン検討部会 議題予定

### プランの魅力を高める空間デザイン方針

『地域らしさを表現する視点』から設定した空間デザイン方針

～ ○ ○ ○ ～

『社会変化に対応した視点』から設定した空間デザイン方針

～ ○ ○ ○ ～

今後の進め方	議題	開催時期(予定)
空間デザイン検討部会 (第1回)	・部会の進め方 ・検討に必要な視点と課題の整理	令和7年 9月30日
空間デザイン検討部会 (第2回)	・空間デザイン方針(案)の設定①(配置・機能・つながり) ・広場機能・動線機能の具体化・施設配置(案)の作成	令和8年 2月26日
空間デザイン検討部会 (第3回)	・空間デザイン方針(案)の設定②(地域らしさの表現、社会変化への対応) ・施設配置(案)のブラッシュアップ ・施設配置イメージ案の作成と施設デザインの方向性の検討	令和8年 春頃
再整備検討委員会 (R8 第1回)	・ロータリー形状、主要施設配置位置の決定 ・施設デザインの方向性の確認	令和8年 夏頃

## 施設配置（案）について

**心地よく使える空間**  
・主動線へわかりやすい景観誘導を行う  
・各機能への見通しを確保する  
・わかりやすい情報案内を行う

**明るさと広がりを感じられる空間**  
・コンコース出入口と連続するゆとりある動線を確保する  
・中央建物の解放感ある吹抜けや、高さのあるピロティを検討する (事業者サウンディング中)

**待合せ機能の導入**  
・コンコース出入口付近に待合せ場所(屋内外)を確保する  
・待合せ機能を持つテナントの配置を検討する (事業者サウンディング中)

**良好なゲート景観の形成**  
・駅へのゲートとなる中央建物のファサードを検討する

**石田街道に向けた見通しの確保**  
・シェルター等の視界阻害要因を極力排除する  
・植栽による視線誘導を行う

**公共交通利用者が移動しやすい動線確保**  
・バス乗降場、タクシー乗降場と駅舎間のアンブレラフリー、バリアフリー動線を確保する

**中央建物2階へのスムーズな移動**  
・コンコース出入口付近へのエスカレーター、階段の設置を検討する

**駅舎への動線・見通し確保**  
・コンコース出入口以外の駅舎入口への見通しと動線を確保する

**身障者が移動しやすい動線確保**  
・身障者乗降場と駅舎間のアンブレラフリー動線、バリアフリー動線を確保する

**民間開発誘導エリア**  
見通しの確保  
・民間開発誘導エリアまでの見通しを確保する

**民間空地との一体利用**  
・再開発エリアの民間空地の一体的な利用や歩行者のスムーズな移動のため、車両進入の制限を検討する

**見通しの確保**  
・再開発エリアまでの見通しを確保する  
・動線の改善  
・再開発エリアまでの動線は現況より短い距離でのアクセスが可能となる

**民間空地との一体利用**  
・再開発エリアの民間空地の一体的な利用や歩行者のスムーズな移動のため、車両進入の制限を検討する

**見通しの確保**  
・再開発エリアまでの見通しを確保する  
・動線の改善  
・再開発エリアまでの動線は現況より短い距離でのアクセスが可能となる

**民間空地との一体利用**  
・再開発エリアの民間空地の一体的な利用や歩行者のスムーズな移動のため、車両進入の制限を検討する

**見通しの確保**  
・再開発エリアまでの見通しを確保する  
・動線の改善  
・再開発エリアまでの動線は現況より短い距離でのアクセスが可能となる

**民間空地との一体利用**  
・再開発エリアの民間空地の一体的な利用や歩行者のスムーズな移動のため、車両進入の制限を検討する

**見通しの確保**  
・再開発エリアまでの見通しを確保する  
・動線の改善  
・再開発エリアまでの動線は現況より短い距離でのアクセスが可能となる

### 多様な利用をサポートするサービス機能の導入

・歩行者動線沿いにトイレ、観光案内(物販併設)、気軽に立ち寄れる飲食機能、待合スペース等の設置を検討する



- 配置の方針
- 機能の方針
- つながりの方針

※この施設配置(案)は、今回の議論のために作成したイメージ案で、今後の検討に応じて更新します。

## 施設配置-(案)-について

- ロータリー間は森下方面へ抜けていく重要な動線であり、ロータリーの形はいびつではなく直線的な方がよい。
- ASTYの出入口と自由な往来ができるようにした方がよい。
- バスバースを減らして、公共ロータリーを縮小できれば、滞留空間が確保できまちづくり的に望ましい。
- 大規模イベントにより一般車ロータリーを一部使うなど実験を実施し、可変的に修正できるようにしておく。
- 石田街道のマルチユースをしっかりと計画に落とす。貸切バスバースの使い方の提案があるとよりよくなっていく。
- 公共ロータリーと貸切バス乗降場の間に横断歩道が無くなっているが、人の流れを考えた時にやっぱり欲しい。
- 通勤通学時間帯と日中、平日と休日等で動線が変わるため、時間帯別の使われ方をイメージするとよい。

## 民間開発誘導エリアとの関わりについて

- 民間開発エリアとの接続部には、中央建物の圧迫感がないように調整する必要がある。
- 民間開発誘導エリアからの眺望も大事であり、中央建物が眺望の阻害にならないようなデザインにしたい。
- 民間開発誘導エリア建物と中央建物を一体で考えるのもいい。
- ホテルの場合はグローバルスタンダードなレベルに合わせたスタイルのものが望ましい。
- 全部がホテルになるわけではなくて、下層をオフィス、高層だけホテルにするなど、複合施設もよい。

## 周辺との関わりについて

- 森下公園エリアは、子育て世代には大切なエリアであり、再開発ビルとホテルの間のルートをしっかりとしてデザインして、動線を確立させておくべき。
- 南口周辺エリアは、駅前広場整備によりポテンシャルが高まることから、まちづくりの指針や地区計画をつくってグラウンドレベルをしっかりとつくること。
- 南口周辺には駐車場が多く存在しているが、不動産価値が高まってくると、マンション等の住宅開発が進み、ファミリー層の増加が想定される。それにより周辺がマンションばかりで飲食店やスーパーがない状態などの偏りがでないよう、ミクスドユースを維持した土地利用が必要である。

## 中央建物について

### ◆1階ピロティ空間

- なるべく1階は利活用のスペースに残しておく。
- 地元資本と外部資本のバランスを取る。
- 周辺の実力のあるプレイヤーの方が入りエリアマネジメントができればいい。地元センスが入ることが重要である。
- トイレはなるべく人目につき、夜間でも荒れないような場所がいい。もちろんしっかりと管理が前提である。
- バリアフリーの観点からもトイレが1階にあるのは意味がある。
- 西側の商業床(飛び地)はJR支社へのつながりがほしいので吹抜けで良いのでは。

### ◆2階以上

- 平日も休日も考慮し、この街らしいミクスドユースを残す。
- 子育てコンテンツと公共施設や商業を合わせたものが多い。
- コワーキングなどのまちでも核になっていることが多い。
- 高架下の施設とのすみわけを考えるとよい。
- 東側の民間開発誘導エリアとの機能調整も必要になる。
- 住民サポートの支援機能があるといい。
- 大学など学校と連携し、使ってもらうのも一つのアイデア。

### ◆屋上

- 公園をしっかりとデザインすることで、子育て支援もできるし、ご年配の方が運動できるし、多様な世代がそこで過ごせるような空間が必要になる。
- ユニバーサルデザインな空間の機能を持たせる。
- 視点場の確保や景観軸などの方向性や整備については、市からの協調が必要になる。

### ◆その他

- 奥行を広くすることは、アンブレラフリーのコストダウンにつながるメリットがある。
- 駅に投資をしていくと、周辺で住宅系(マンション)の開発が進むことが想定される。そのことを考慮した用途・利便性を計画していくべき。
- 駅の雰囲気にもリスペクトが感じられる用途が望ましい。
- ホテルやオフィスの可能性も考えられ、まちの新しいニーズに応じていく。
- 次の再整備までの長い期間で考えた時に、JR東海静岡支社の更新も考慮するとよい。